

事業計画書

クラブ奉仕委員会

委員長 源本 将人

基本方針

50周年を目前に控え、重責と重圧を日に日に感じるように橘会長のもと一年間邁進してまいりますので、会員皆様のご支援ご協力賜ります様、宜しくお願いいたします。

計画

- ①出席状況報告の実施
- ② オリエンテーションのサポート
- ③クラブの活性化
- ④各委員会との連携を計り、例会、クラブ行事、地区行事への出席率向上に努める

出席率向上委員会

委員長 田代ミチル

基本方針

コロナウイルスの拡大により、緊急事態宣言、外出や集会の自粛とこれまで経験したことのないような事態が起こり、また世界情勢も日々、変化してまいりました。この度、新たに設置される出席率向上委員会では、これからも起こりうるであろう不測の事態や、多様性のある出席のかたちに対応できるよう、新たな時代の出席率の向上に向けて、幹事ならびにSAAと連携してハイブリット例会を実現すべく、一年間を通していろいろな仕組みを構築してまいります。広報委員会とも連携し、SNS等のツールの利用促進を図ってまいります。

計 画

1. 例会出席の確認ならびに出席についての啓発
2. ハイブリット例会の準備と実行
3. その他、例会出席に係る事項

クラブ研修委員会

委員長 木崎 信也

基本方針

クラブ研修委員長を仰せつかり、身の引き締まる思いでございます。ここ数年の会員増強に伴い、40歳台の若手メンバーも増えクラブの雰囲気も大きく変わりました。

研修委員会としては、過去の歴史と伝統を学ぶことは勿論、ロータリアンとしてのあるべき姿、くずはロータリークラブの進べき道を、会員と共に研修を通じて模索していければと思います。

計 画

- ・新会員オリエンテーションの開催
- ・担当 例会
(テーブルディスカッション2回 夜間例会時)

親睦委員会
委員長 高橋 克文

基本方針

会長の掲げられたテーマ『対話から生まれる創造性を求めて～世代を超えて奉仕の価値観を共有しよう～』に沿って、50周年に会員数100名を目指すクラブにふさわしい例会の設営や企画を行います。

計 画

- *12月17日 クリスマス家族例会
於:リーガロイヤルホテル大阪
- *2023年春ごろ 家族例会

職業分類・会員選考委員会
委員長 小北 英夫

基本方針

会長の基本方針「対話から生まれる創造性を求めて～世代を超えて奉仕の価値観を共有しよう～」に沿って地域に密着した分類表になるよう整備し、新会員候補の発掘につながるよう精査致します。また、会員選考では、会員増強委員会と連携を密にし、細則に沿った人物を選考します。

計 画

1業種会員総数5%ないし5名までの制限はなくなりましたが、バランスのとれた会員構成になるよう努めます。

会員増強委員会
委員長 鳳山 成志

基本方針

橘会長の基本方針のもと、ともに地域の奉仕活動事業に賛同して頂ける方を積極的に増強してまいります。

計画

- ・会員増強10名を目標とする。
- ・他委員会と積極的に情報共有を図り、増強対象者を選出する。
- ・新会員へのサポートを、積極的におこなう。
- ・新入会員の歓迎会をおこなう。(要情勢確認)

広報公共イメージ委員会
委員長 龍見 洋祐

基本方針

くずはロータリークラブの活動状況や活動意義を様々なツールを使い、わかりやすく対外に向けて広報すると共に対内(会員)にも伝わるようにする。

計 画

- ・週報の発行を行う。
- ・ホームページを適宜更新を行い、対外はもちろん対内(会員)にも 活動内容が伝わるようにする。
- ・入会時にMyRotary登録を促し、未登録の会員へも登録をお願いする。
- ・SNS等のツールを利用してわかりやすく広報を行う。
- ・各委員会と連携して活動内容を対内(会員)に向けて情報発信を行う。

友好クラブ委員会

委員長 多田 利生

基本方針

2011年3月11日、いわゆる3.11の震災で多くの方が亡くなり、同じ志を持つ同志である気仙沼RC、気仙沼南RCの仲間に手を差し伸べ、支援が始まり、早や11年が経ちました。

世の中は被害の風化の様子が出てきておりますが、私どもくずはRCとして10年間の歳月の中で、一昨年2020年11月10日に気仙沼RCの例会の中で、長年思いを抱いていた気仙沼RCと気仙沼皆南RCとの友好クラブ締結をすることができました。

その友好クラブを基本に継続的に負担にならないように共に助け合い、そしてクラブの発展を願い、絆を深めていく事を目的としています。

職業奉仕委員会

委員長 原 卓生

基本方針

ロータリーの理念等について共に学び自らの成長とともに各委員が地域のリーダーとして責任と自覚を持ち自らの職業を通じて社会に貢献し奉仕出来るように努めます。

社会奉仕委員会

委員長 養老 孝雄

基本方針

前年度はコロナの影響で思う様に活動が出来ない状況での取り組みとなりました。本年度についても予測のできない状況に変わりありませんが、そういった中でもくずはロータリークラブとして出来る最善の取り組みを模索し皆様との繋がりを大切に実践していきたいと思っております。

計 画

- ①気仙沼RCの奨学生への支援金授与式への出席
- ②気仙沼RCと気仙沼南RCへの例会への出席の予定(9月～10月)
- ③気仙沼RCと気仙沼南RCとくずはRCの合同例会の検討会議実施(例会出席時に3RCでの協議)
- ④気仙沼RCと気仙沼南RCへの復興支援期間について、3RCへの報告(例会出席時9月～10月)

計 画

- ・職業見学の実施
- ・奉仕活動奨励褒賞受賞候補(団体・個人賞)の選定
- ・外部卓話の実施

計 画

1. 枚方フェスティバル協議会への協賛 50千円
2. わらしべと共に歩む会 @1千円×会員数
3. 社会を明るくする運動 協賛パネル 6千円
4. 枚方社会福祉協議会 法人会員年会費 2千円
5. 献血キャンペーン 年2回
60千円(30千円×年2回)
6. 枚方交野交通安全協会 会員年会費 10千円
7. 交通安全週間啓発グッズ 60千円
8. もんぺ座支援 50千円
9. 交通安全週間式典(パレード)参加及び
樟葉駅前早朝キャンペーン
10. 交野女学院育成支援1万円

国際奉仕委員会

委員長 杉森 久哉

基本方針

橋会長が示された本年度クラブテーマ「対話から生まれる創造性を求めて～世代を超えて奉仕の価値観を共有しよう～」を念頭に置き、ポリオ撲滅への貢献、国際理解、平和を推進するため、国際奉仕活動の重要性を会員の皆様と共有し、また、理解していただけるよう努めてまいります。

ロータリー財団委員会

委員長 長友 克由

基本方針

- ・地区財団の活動についての会員の理解を推進する。
- ・グローバル補助金を活用する事業の模索・検討。

計 画

1. タイ国アカ族の子供たちへの継続支援
2. ポリオ撲滅に対するクラブ内外へのPR活動の実施
3. 国際大会への参加推進

米山奨学委員会

委員長 林 宏毅

基本方針

本年度は米山奨学生として、グエン ティン ビック ホン(ベトナムの女性) さんを担当させていただくことになりました。平和日本を世界へ、日本と世界と結ぶ「架け橋」となって国際社会で活躍しロータリー運動の良き理解者となるようカウンセラーとしてサポートしてまいります。

青少年奉仕委員会

委員長 宮地 康弘

基本方針

クラブとして青少年奉仕活動を通じ、子ども達に対する支援事業の継続や補助金を活用しての支援事業を行っていきます。また、青少年の健全育成を図るために対外的に活動をされている各種団体に対してクラブとして後方支援を行います。

当クラブは2023年秋RYLAのホストが決定しているので今年度は積極的に参加協力してまいります。

さらにスポーツを通して地域へ社会体育の普及と振興の支援のため、「スポーツ振興支援事業の推進」を行い、地域で活躍されている個人団体を発掘し、表彰を行います。

計 画

- ・クラブ会員に対して財団への寄付を奨励する。
- ・財団月間に於いて、財団への理解を深める為に財団の活動・運営の説明、併せて寄付を奨励する。
- ・グローバル補助金を活用する事業の検討
- ・地区補助金を活用する事業の検討・実施

計 画

1. 例会への招待と奨学金の支給
2. 奨学生のレポート等の提出物の管理

計 画

- ①くずはロータリークラブ杯少年野球ジュニア大会開催
- ②北河内柔道大会
- ③ボーイスカウト支援事業
- ④ニコニコキャンプへの協力・ロータリアンの登録
- ⑤秋・春のRYLAセミナーへの協力・ロータリアンの登録
- ⑥ローターアクトの献血活動へ協力
- ⑦スポーツ振興支援事業の準備・選定
(個人賞・団体賞)
- ⑧地区補助金事業枚方市内小学校へのプロジェクター
台の寄贈

長期計画委員会

委員長 國田 欣吾

基本方針

2019年の後半より世界中にコロナウイルスが拡がり、2020年初期には日本全国へと拡大して、国内においても経済はもとより社会生活が大きく変わってきております。又、世界においても国々への対立により争うごとが絶えず世の中が混沌として来ております。ロータリークラブの役割は、平和と社会への貢献、各地域社会への支援など様々です。私達ロータリークラブは更に積極的に奉仕活動が求められています。

本年度長期計画室としては橋会長の基本方針にのっとり委員会の皆さんと議論を重ね、中長期を目標にクラブビジョンを策定できればと思っています。どうかご支援ご協力をお願いします。

規定審議委員会

委員長 山口 尚志

基本方針

国際ロータリー・規定審議委員会の方針を踏まえ、当クラブの実情を鑑みながら、定款並びに細則について周知し、クラブ運営の具現化を図る。

ニコBOX管理委員会

委員長 三木 彰

基本方針

ニコBOXは会員が喜びごとや祝い事や近況報告などいろんな理由をつけて自発的にするものです。集まった寄付はクラブの奉仕活動資金に限定されておりますので、その使途目的が適正であるか検討や提言を行ってまいります。

- ・ニコBOX寄付は積極的にして頂けるようPRを行います。
- ・例会時にメッセージの紹介を行う

計 画

- 1) 創立50周年に向けての検討会議
- 2) 2022～2023年度のくずはロータリークラブ重要事業への検討会議
- 3) その他

計 画

- ・国際ロータリー規定審議委員会の通達による定款等の改定
- ・会長、幹事並びに理事会、加えて長期計画委員会と連携、協議し各種既定の見直し、改定を行う。
- ・クラブ運営に重要な各種規定について例会時に卓話または別途の集会等を通じて周知を図る。

計 画

- ・申し出があれば委員会を開催し、使途の目的内容など十分に精査し、適正と認めた場合書面で理事会に上程する
- ・例会時にニコBOXへの協力を委員会からもお願いし一人年間36千円を目標とする。
- ・ニコBOXメッセージの紹介

S・A・A

瀬川 裕一

基本方針

会長が掲げる「対話から生まれる創造性を求めて～世代を超えて奉仕の価値観を共有しよう～」を念頭におきSAAの基本職務をしっかりと学び遂行してまいります。また出席率の向上に繋がるよう楽しく意義のある例会をまた出席率の向上に繋がるよう楽しく意義のある例会を心掛けるとともに、風紀を守り時間を厳守した基本に忠実な例会運営を目指して参ります。

会 計

秀島 伸彦

基本方針

適正な予算計上及び精算が行われているのか都度確認を行います。
またしっかりとした費用対効果があるのかも合わせて確認を行います。

計 画

*SAA(会場監督)として
例会やその他の会合で、会が秩序正しく楽しい雰囲気運営される為の進行役を務めさせていただきます。

*SAAの職務

- ・例会の司会進行
- ・私語等に対する防止と注意喚起
- ・卓話の時間励行
- ・例会時のロータリアンらしい服装への徹底
- ・例会場の設営(親睦委員会等と協力して)
- ・国旗などの掲揚、座席の指定とテーブル配置
食事の手配等
- ・ニコニコ箱の管理とその寄附状況の報告

計 画

原則として年度終了時の決算が当初の予算内に収まるようにすること。

- ・適正な予算計上及び精算の確認。
- ・費用対効果の確認。